



# ふれあい スポーツ

発行

滋賀県障害者スポーツ協会

〒520-0037 大津市御陵町4-1

滋賀県立スポーツ会館内

☎ 077-522-6000

FAX077-521-8118

## 「協会会長就任にあたり」



滋賀県障害者スポーツ協会  
会長 國松善次

とから、国際的にも活躍できるような選手の選抜システムの確立や障害者スポーツ団体の組織強化など、競技力向上のための体制整備に取り組む必要があるともされています。

この度、私は滋賀県知事に就任し、あわせて稲葉稔前会長の後任として、県障害者スポーツ協会の会長に就任をいたしました。前会長同様よろしくお願いいたします。社会参加の促進に寄与することを目的に昭和52年に「滋賀県身体障害者スポーツ協会」として発足いたしました。その後、平成5年には知的障害者のスポーツ振興にも取り組むこととし、組織を「滋賀県障害者スポーツ協会」に改組して、

「その基本的な考え方においては、障害のある方々が日常生活の中でスポーツに親しむことができるよう、市町村をはじめ、さらに身近な地域で障害のある人もない人もともにスポーツを楽しむことができるような機会を設けること、地域にある公共的なスポーツ施設の利用を容易にすること、地域における障害者スポーツの指導者を養成してスポーツ施設に配置することなどが必要である」とされています。また、競技スポーツについては、障害者の興味・関心を高め、障害者スポーツ全体の振興に大いに貢献することが期待されるこ

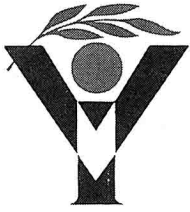
ろ、平成10年3月に開幕されました長野パラリンピック冬季競技大会における日本選手団のめざましい活躍により多くの方々の関心が寄せられるようになりました。それを契機として、国

において、平成10年4月に「障

### ◆新規賛助会員について◆

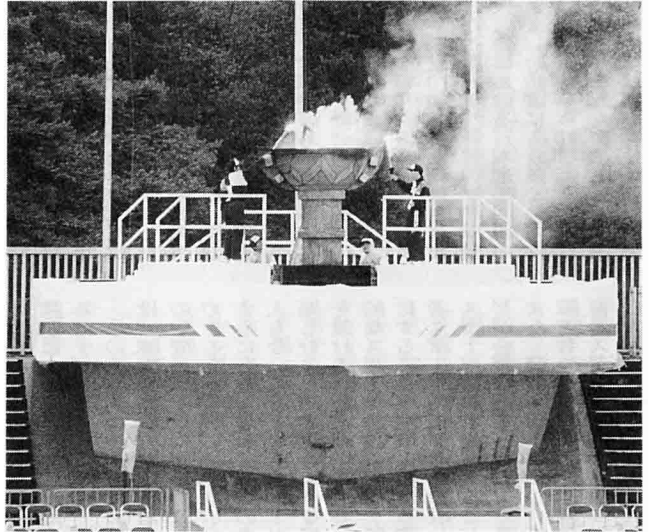
本協会活動にご理解を賜り、新しく賛助会員にご登録を頂いた会員(法人・個人)は次の通りです。

- ◇新規賛助会員(法人)◇
  - ①株式会社メディカルプラント 大津市馬場一丁目4-22
  - ②株式会社イキ 大津市茶戸町2-6
  - ③株式会社Eテック 野洲郡野洲町小篠原2-10-1
  - ④有限会社大津レンタカー 大津市皇子が丘三丁目7-41
  - ⑤カメラのムツミ堂大津店 大津市長等二丁目2-23
  - ⑥社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会 大津市におの浜二丁目4-36
  - ⑦株式会社増田医科器械店 野洲郡野洲町三宅持町 454-1
  - ⑧川村義肢株式会社 大阪府北区天神橋 一丁目18-18
  - ⑨東西科学産業株式会社 滋賀営業所 近江八幡市大森一 八日市市東沖野二丁目2-2
  - ⑩滋賀義肢製作所
- ⑪トラヤ商事株式会社 彦根市本町一丁目11-23
- ⑫株式会社エッセン 草津市青地町987
- ⑬株式会社ダスキン比良 草津市南笠町536
- ⑭株式会社テクノエイト 大津市北大路一丁目18-7
- ⑮かて工房有限会社 大津市横木一丁目8-34
- ⑯びわこヘルスケア株式会社 大津市皇子が丘一丁目1-30
- ⑰株式会社タナカヤ 大津市中央一丁目6-24
- ⑱広島義肢製作所 近江八幡市江頭1006-4
- ◇新規賛助会員(個人)◇
  - ①富永 初美 大津市下阪本三丁目11-64
  - ②土居 健司 栗太郡栗東町安養寺 七丁目5-9
  - ③中岩 達男 大津市皇子が丘三丁目9-3
  - ④一圓 正道 彦根市尾末町4-2 (敬称略)



# いい友 いい愛 いい心 ゆうあいピック茨城大会

## 10月17日(土)・18日(日) 茨城県笠松運動公園 他



感動のゆうあいの火の点火の瞬間!

「いい愛 いい友 いい心」のスローガンのもと、ゆうあいピック茨城大会が10月17・18日茨城県笠松運動公園陸上競技場を中心に開催されました。

初日は全競技を中止するのではとの声もありましたが、開会式こそ体育館内に変更されたものの、卓球・水泳・ボウリングといった屋内会場での競技は勿論の事、陸上・フライングディスク・サッカーについても予定通り開催され関係者を安心させました。

大会の為に日頃練習を重ねてきた参加選手にとって、多少の悪天候は何のその。雨に水をさらされる事もなく、びしょ濡れになりながらも、真剣にプレイをする選手に、観客席から大きな声援が送られ、大会の感動をより一層深めました。

結果、全競技に渡り実力を遺憾なく発揮した滋賀県選手団は前大会のメダル総数20個に対し金14・銀5・銅12の計31個と大きくメダル獲得数を伸ばし、都道府県・指定都市別順位において、金メダル数で11位、メダル総数で13位という(いずれも近畿勢中1位)素晴らしい結果を残し、滋賀県の実力を内外に示しました。

今後の努力を重ね頑張ってください。皆様有難うございました。

今回の大会は、将に自然の猛威に翻弄された形となり、団体種目のソフトボールとキックベースボールが中止になる等、台風の動き如何によっては、大会

とりのわ、滋賀県選手の活躍は素晴らしい、陸上競技の黒坂俊夫選手(少年組)が立幅跳で

2m64cmの大会新記録で見事メダルを獲得した他、個人競技出場選手では雨風の影響が最も大きいフライングディスク競技において1名がメダルを逃したものの、その他の全員がメダルを獲得する事が出来ました。

また、昨年・今年のC M Hサッカー大会を始め、県内外を問わず様々な試合に積極的に参加し、大会毎に確実に力をつけている滋賀県のサッカーチームについては、今回はシード扱いとなった為、初戦が準決勝となりこの大会無敗を誇る王者静岡県との対戦となりました。

試合は前半0対0で善戦したものの、後半は実力に勝る静岡県が2得点を挙げ、0対2で惜しくも破れ3位に終わりました。なお、静岡県は決勝戦に於いても地元茨城県を6対0で破り、連勝記録を更に伸ばしました。

このような悪条件の中で競技でしたが、選手自身よく健闘してくれました。

滋賀県代表だという事を忘れずに練習に励むことが大切である。勝敗には運もあるが、毎日の努力次第によって、試合の結果は必ずとってくる事を強調してきました。

「よくやった選手たち」  
陸上競技コーチ 北条 正司

出発日より大会最終日の朝まで、雨に見舞われるという悪天候の中でゆうあいピック。開催決定より準備を進めてこられた茨城県の関係者の方々も大変だった事でしょう。

開会式も体育館で開催され、長期間練習された約二千名の式典演技が中止になり、出演予定者の皆さんにとってはさぞ残念だったことと思います。

我々陸上選手団も、前日の練習日に滑って捻挫をする選手が出たり、試合で一着でゴールした後、滑って捻挫する選手が出たりするなど大変でした。

どのような練習をすれば良いかな等を尋ねに来た選手が例年より多かったように思います。

悪天候の中で、ゆうあいピック新記録を出した選手や、テーパーをしながらも自己新記録を出して入賞した選手を始め、全員良く頑張ってくれました。

また、男子四百メートルリレーも、健闘してくれるとは思っていたが、まさか一着でゴールするとは想像もしなかった事でゆうあいピック始まって以来の快挙だと思えます。

その結果、十名の陸上選手で金メダル十個、銀二個、銅四個と全員が銅メダル以上を得る好成績をあげてくれました。

陸上以外の各種目選手団も好成績を修めてくれました。

このことは、選手自身がよく健闘してくれたのと同時に、関係者の協力のお陰だと感謝しています。

毎日の練習メニューを作った欲しいとか、次の練習会までに

雨の中選手を見守る北条コーチ(右)





リレーの金メダルにガッツポーズ!

また、いつか出場したい!

近江学園 黒坂 俊夫

僕は、予選会に出場するのは今年で三回目だけど、緊張しました。頑張ったら何とかなるかと思ってやってみたら、予選を通過して嬉しかったです。

ゆうあいピックの練習が四回に分けて始まり、つらかったりしたけれど友達がいっぱい出来て嬉しかったです。友達と話しながら練習して楽しかったです。ゆうあいピックの結団式があって、テレビ局の人も来ていて緊張していました。

ゆうあいピックの開会式が雨と風で思うように出来なくて残念でした。この日はソフトボール投げに出場して、雨と風に打たれながら順番を待っていたら寒くなってきた、思うように投げられなかったけど、六十三メートル三十六センチで一位になりました。この寒さの中で一位なんてすごく嬉しかったです。でも自己記録にとどかなかって

残念でした。この日は皆もたくさん入賞していてよかったです。次の日も頑張ろうと思いました。

競技に入ろうとしたら雨が降ってきて、昨日みたいに寒かったです。出場種目は立幅跳びに出場しました。一回目と二回目は最悪で、最後に跳ぶ時にどうなってもいいと思って跳んだら二メートル六十四センチで、大会新記録を出しました。その後四百メートルリレーでいい走りをしてほしいなと思っていました。最後の種目だから気合いを入れて出場しました。自分にバトンが渡って、思いっきり走りまし

た。記録を聞いたら五十四秒で一位になりました。リレーで一位になったのは初めて嬉しかったです。それと金メダルを三個も取れて気持ちよかったです。この後、雨が降らなくて閉会式が無事にすんでよかったです。後夜祭があつて、足が痛くて我慢ができなかった。何もしなかったけれど後夜祭は楽しかった

痛、思い出さばいびの大会!

信楽町 川添 和美

私は、この大会に陸上選手として参加させて頂きました。種目は、五十メートル走と立幅跳びでした。結果は、金メダルと銅メダルを取ることができました。これまでにかなりきつい練習をがんばってきました。その結果私もよかったですし、男子の四百メートルリレーも金メダルをとれて私自身も本当にうれしかったです。

大会一日目、雨が降っていました。五十メートルスタート後となりの人がフライングをしたため、ストップがかかりました。その時右足をねんざしてしまいました。それから、夜にズキ



後夜祭で笑顔の戻った川添選手

ズキと痛みだし、困っているところに多くの人に助けてもらいました。ボランティアの人達、ホテルの従事者さん、いろいろなスポーツ協会の人達、いろいろな皆さんにお世話になりました。また、一緒にいった滋賀県の選手のみなさんにも、肩をかけたもらったり、おんぶしてもらったり、お世話になりました。そのことをつうじて話合える友達もできました。陸上の練習をがんばったこと、多くの人達と友達になれたこと、多くの人達に助けてもらったこと、この大会に出場させて頂いて本当によかったです。ありがとうございます。今も右足が少し痛み、少しだけ泣いています。痛、思い出さばいび

です。滋賀県に戻って解団式をして学園に戻ったら、友達が待っていて、よく金メダル三個も取ってきたと皆に誉められました。

今年のゆうあいピックは今まで行った中で一番いい大会でした。また、いつか出場したいです。

練習してもっとつよく...

しゃくなげ園 田村 真一

十月十五日から茨城で行なわれたゆうあいピックに出場しました。

十六日に卓球の練習をしました。きゆうけいはありませんでした。それは十七日に勝つためです。滋賀県の人と練習しました。おひるの十二時まで練習をしました。

十月十七日、昼食を食べて試合をするまで練習をしました。午後二時三十分から試合をしました。まず練習をしてから始めました。第一セットで二十一ポイントで勝って第二セットで二十一ポイントで勝ちました。やはり勝つ時はとてもうれしかったです。



卓球会場での一コマ(田村選手は左から2番目)

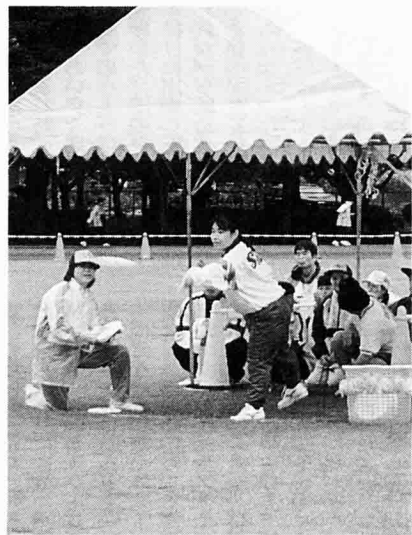
の大会になりました。私は勝てたりゆうは自分の力で最後までせいっぱいがんばれたことでした。彼氏のお守りをつけていたので、優勝ができたことです。

コンパニオンのお姉さんたちにもいろいろいそがしいところから夕までいてくださったこと今でも心に残っています。

大会マスコット



ヒバリン



アキュラシー競技での由井選手

茨城が好きになりました!

信楽町 由井 美幸

私は、はじめてゆうあいピック大会にできました。はじめはどんなことをするのかわからなかったです。フリスビーがなんなのかもしなかったです。でもりょうの先生におしえてもらいました。

そして、よせんかいに行きました。少しはずかしかったです。そして、じゅんびしてグラウンドを二回走るのがいやでした。そして、フリスビーのれんしゅうをしました。そして、れんしゅうのほんばんは、わの中に入れてるのが二回でした。長くとはすのは、とおくにとばせました。そして、うかりました。うれしかったです。そして、日曜日のれんしゅうをしてホームでも少ししました。たまにさぼりたくなる時もありました。そして、ほんばんの茨城に行きました。コンパニオンさんがたくさんいました。手をたたい

てむかえてくれました。少しはずかしさとびつくりがありました。でも、きもちよかったです。そして、あいさつをしてバスにのってホテルに行きました。

しあいの一日目、雨と風がふいてさむかったです。あまりいい状態ではなかったけど、フリスビー競技で二位をとりました。うれしかったです。

二日目、今日も雨と風がありました。フリスビーの遠くへとばす競技はざんねんしょうでした。そして、夜は、会場でいろいろなゲームとか、交流会がありました。私は、コンパニオンさんと行き、さいごに、西田ひかるのコンサートを見ました。ちかくで、ひかるさんを見るのができました。こうふんしすぎて、おさいふもふつとびました。

そしてつぎの日、かんこうをしました。いっぱい、プリクラをとりました。イルカにもさわりました。かわいかったです。そしてかえる日、私はこの大

メダル2枚でうれしかった!

しゃくなげ園 辻 明恵

ことは、水泳にさんかをしました。私は三回めなのでがんばりました。

十七日と十八日にしあいがありました。出場種目は、二十五メートルと五十メートルの自由形をおよぎました。二十五メートルと五十メートルはメダル二枚で一位でした。うれしかったです。とてもうれしかったです。プールのところに兄ちゃんとおばあさんとお母さんとおじいさんとおばあさんといっしょにおうえんしてくれました。う

れしかったです。

後夜祭のときに田村真一くん和水泳の人といっしょにまわりました。とてもうれしかったです。

大洗水ぞくかんと大洗マリンタワーと弘道館にいきました。大洗マリンタワーの天べんまでエレベーターでのぼりました。とてもこわかったけど、ゆうきをだしてのぼりました。それも田村くんといっしょにのぼりました。うれしかったです。大洗ホテルでプリクラをとりました。田村真一くんといっしょにとりました。うれしかったです。



リレーで涙の銅メダルの辻選手

会をとおして茨城が好きになりました。だからさみしくなりながらバスにのりました。コンパニオンさんがおくりにくれてきました。時間がきてわかれることになり、みんながなき、私も少しなけてきました。コンパニオンさんとわかれたくなかったです。でも、いつかあおうとやくそくしました。

茨城につれていってくれた、滋賀県や、やくいんのみなさんありがとうございました。スポーツをとおして、一生の思い出をつくることができました。ありがとうございます。いかせていただいてほんとうによかったです。ありがとうございます。

来年は勝ちます!

信楽学園 青山 正

10月15日から20日まで、ゆうあいピックにこしもサッカーで参加しました。

昨年は非常にくやしい思いをしました。今年こそは優勝をめざしてみんなと練習をしてきました。

ゆうあいピックが近づいてきて、自分ではがんばって勝ちたいと思って、練習をがんばってきました。

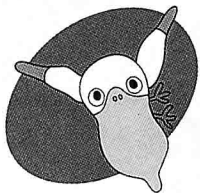
そして、いよいよぼくたちの試合の日がきました。いきなり静岡とあたって、その日も試合するまえに皆でれんしゅうをして、いよいよ静岡との試合がはじまりました。前半は0対0で

けつこうぼくたちも、良いところまでおしていたけど、一点も入らず前半がおわり、ぼくは勝てると思っていたし、皆も思っていたと思います。

そして、後半がはじまり、しばらくして静岡に一点を入られたので、それから皆あまり声でなくなつて、また一点を入られたので、なんとかして一点でもとりかえそうと思ってがんばった。最後まであきらめずにかんばつたけど、二対0でまけてしまった。後半もかなり点につながらるところもあったし、後半の途中であまり声でなくなつてきたけど、皆であきらめずに最後まで良い試合ができたので、くやしかったです。来年は勝ちます。



鹿島アントラーズのジョルジニョ選手を囲んでのサッカーチーム(青山選手は後列右から5番目)



# 第34回 全国身体障害者スポーツ大会 かながわ・ゆめ大会

11月7日(土)  
8日(日)  
横浜国際競技場  
他

今大会は例年より開催時期が遅かった事もあり、大会前日の公式練習日には関東地方に「木

11月7日・8日、「あなたと握手 あなたに拍手」をスローガンに、第34回全国身体障害者スポーツ大会(かながわ・ゆめ大会)が横浜国際総合競技場を中心に開催されました。

木枯らしが吹き荒ぶ大会初日と、小春日和の大会2日目という激しい気象変化の中、全国から集まった選手たちは、天候に負けぬ激しい戦いを繰り広げました。

枯らし1号」が吹くなど、寒さとの戦いとなるのが当初から予想されました。また、当日の天気予報が80%降水確率であったため、「この寒さに加え、雨が降れば体調を崩す者が続出したのでは」と心配させられました。幸いにも雨は降らず、低温対策のみに気を使う事になりました。ところが、大会2日目は前日とは違って変わり、朝の内こそ晩秋の冷込みを感じたものの、日中はうららかな小春日和となり、逆に気候の急変で体調を崩す選手があるのではと心配される程で、気候の悪戯?に振り



旗手の大西選手を先頭に堂々の入場を行う滋賀県選手団(開会式)

り回される大会でもありました。また、前大会より障害区分が一新され、年令区分も新設されたほか、選手の内一定数は2回目の出場者も認める等、大会の内容が大きく変更されたことに伴い、未だ新鮮感多いこの大会に、ついに滋賀県としても初めて2回目出場選手を加えることになり、その意味においても記念すべき大会となりました。

競技においては約5カ月間の強化練習の成果が大会成績にストレートに結びつき、陸上競技の大西選手(片下肢機能障害)が百メートル競走で記録を2秒以上短縮する12秒9の驚異的なタイムで優勝を飾つたのを始め、大会新記録が7つにものぼる等好記録が続出しました。

結果、全競技において活躍が目立つ滋賀県選手は、金15銀4銅2の計21個のメダルを獲得する事ができ、第32回大会の24個には届かなかったものの、昨年の15個を大きく上回る成績を挙げることが出来ました。



山田選手の金メダルへの力強い投てき!

## 競技場に忘れ物...

彦根市 山田 光穂

僕は中学校の時、円盤投げをやっていたので、全国身体障害者スポーツ大会の出場が決まった時は本当に嬉しかった。

僕は砲丸投げとハンドボール投げに出場する事になりましたが、柔道のインターハイと重なって、練習が出来ないまま横浜国際陸上競技場に行きました。そこは緊張するくらいとても大きいところでした。

目標は「砲丸投げ優勝」と、ハンドボール投げ優勝」でした。

1日目は開会式が行なわれ、砲丸投げはその日の最後になりました。待つている時はすごく緊張しました。どの人もこの人も強そうな人ばかりでした。隣の選手から「お互い頑張ろう」と言われました。

本番が始まり、1投目は11m 07cm、2投目が11m 27cm、ラストの3投目が11m 48cmで、2位の人に1m以上の差を付けて優

勝する事が出来ました。表彰式の際、金メダルを掛けてもらった時が一番嬉しかったです。

滋賀県のテントに戻ると、皆が僕を迎えて次々と握手しておめでとうと言ってくれました。

2日目はハンドボール投げに出場しました。殆ど砲丸投げに出場していた人ばかりでした。競技は2組に別れていて、僕の組は強敵ばかりでした。その結果は8cm違いで4位となり、それは僕にとって競技場に忘れ物をしてきたみたいにして、とても残念でした。やはり、練習不足で、もし、来年出場させてもらえるのなら、今年の忘れ物もしっかりと持って帰りたいと思います。また、自分が得意の円盤投げで全国大会に出たい気持ち忘れがたいです。是非、もう一度チャンスをお願いします。「絶対頑張ります。」記録も大切でしたが、全国の皆と交流出来た事が本当に心に残りました。本当にありがとうございませう。



佐多選手のダイナミックなジャンプ!

### 大会新記録にウキウキ!

栗東町 佐多ひとみ

私はろうあ者で高校生です。今回、全国身体障害者スポーツ大会に参加した事は、それまでにない経験になりました。

最初はどんなふうに参加して動くのかを全く知らず、いつも通り、健常者の陸上大会と同じ方法で良いと思っていたところ、強化練習会で違う方法が教えられましたので、何の意味があるのか納得いきませんでした。「もう嫌だ。」というような事も考えていました。

### 今の体で何でも...

大津市 野口 大介

まあ、金メダルと銀メダルを貰って、それなりに良かったけれど、自分の右半身は全然あかんし、何とも言へん。けれど、自分でやってみよう。大事やさかい、今の体で何でもやってみようかなあかん。



表彰を受ける野口選手

大会直前まで、このように思っていました。大会会場はいつも参加している陸上競技大会と同様でしたので、少しやる気が出てきました。しかし、予選や準決勝がなかったため、やはり何かつまらないと感じ、「予選や準決勝があるほうが楽しいのでは？」と頭の中で考えていました。

しかし、嬉しい事があったので、嫌な気分はすっかり忘れてしまいました。なぜなら、走幅葉や嫌な言葉を言われる事もありますが、気にせず自分の力を信じれば良いと思います。

### 横浜は忘れる事が出来ない...

大津市 板倉 郁子

身障者スポーツ大会に出るとは夢の夢であり、昨年は大阪に応援に行つて、ホテルで1泊する事が私の行事でありました。5月中頃、大会に出ると決心したにもかかわらず、いつしか止めた方が良かったか? という迷いが多少生じ、自信は全くありませんでした。

強化練習会、毎日の練習の積み重ね等、暑い間は辛い時もありましたが、今では良い思い出となっております。

それまでは、そのような経験がなかったにもかかわらず、最年長という事で、県庁公館で知事の前で宣誓をさせて頂きました。テレビに映った場面を後で見て、自分で言うのも何ですが、おかしけれど良かったと思います。

前の夜はあまり眠れぬまま、とうとう7日の朝が来ました。入場行進では胸がとて熱くなり、このような立派な大会に出場させて頂ける感激に初めて浸りました。

私が出場するのは1時50分でした。それ迄に出場された方がメダルを下げてぼちぼち戻つてこられ、私は食事も喉を通らなくなり、顔がこわばり、口が震えていたと後で言われました。槍投げは4人でした。出場選手と顔合わせをした時は少し引け目を感じました。結果は自己記録



選手宣誓する板倉選手(結団式)

には及びませんでした。一杯やりました。

サブグラウンドに戻る足はとも重かったのですが、4位でも皆がニコニコしてころよく迎えて下さり、何か救われた気がしました。

その夜のミーティングで、翌日の立幅跳びは小野コーチがついて下さるとの話があり、少し心丈夫になりました。

8日は前日と違って暖かく、暑い位でした。小野コーチは各選手のスケジュールに合わせてアップして下さい、私には9時からついて頂き、出る前にはコメントを頂きました。まさに、至れり尽くせりの対応で、小野コーチには頭が下がる思いでした。立幅跳びもあと一步のところで賞に届かず、入賞する事の難しさを改めて実感しました。本部席からも少し観戦していましたが、他の皆さんが良い成績を挙げられますと心が痛みました。しかし、他の選手の皆さんは私の心の痛みを和らげて下さり、その事に心から感謝して

おります。

閉会式は何か名残惜しく、イルカさんの生の歌声を聞いて、寒さ・疲れも吹き飛んでしまいました。後夜祭は気分も緩んでお酒も沢山頂き、ご馳走もよばれました。

9日は地元交流。山下公園や横浜ランドマークタワーの最上階から見た景色は素晴らしい。何とも言い表せぬ程良かったです。そして最後の夜は選手の仲間と部屋で思い切りお喋りしました。5泊6日も始めは長いと思っておりましたが、あつと言う間に終わってしまいました。これからはご恩返しをさせて頂くため、お手伝いをさせて頂きたいと思っております。

横浜はもう一生忘れる事が出来ません、誠に有難うございました。





200m競走での辻村選手(ゼッケン2506)

「ゆめ大会を終えて」

愛知川町 辻村 光俊

私は、この大会を通じて色々な人と出会いをさせて頂きました。私は2年前から視覚障害者になり、今は盲学校に通う日々を過ごしています。学校では実習科目だけではなく体育もあり、初めは障害者がどうしてスポーツが出来るのか分からなかった

のです。ところが、ルールこそ違ふものの、健常者と殆ど同じ方法で、特に陸上競技は障害者に対して何のハンディも与えられません。健常者と同条件で走ったり、跳んだり、投げたり、その中で一生懸命スポーツに取り組んで汗を流す人を見て、「よし、私もやってみよう、どこまでやれるか分からないが、やれる所までやってみよう。」と思

いになりました。私達は様々な障害を乗り越えて一つの目標を目指して頑張っていました。そして、ここまで頑張ってきたのも、私達を支えて下さった、スタッフの皆さんのお蔭だと思います。もう一度大会に出場出来るならば、是非そうしてみたいと思います。そしてあの感動を、もう一度味わってみたいですが、

出場出来て本当に良かった！

草津市 研谷 三枝

5月末に行なわれた選考会で考えていた以上の厳正さにピリツと気が引き締まる思いをしてから、はや6カ月近くが経ちました。6月に代表選手決定の通知を頂き、驚きと嬉しさではしやき回った事を思い出します。強化練習会が始まり、一つ一つ



競走を終え、ホッとした表情を見せる研谷選手

の積み重ねの大切さを知り、自分の甘い考えでは大会どころか強化練習で音を立ててしまおうと気が付きました。さあ、トレーニング！最初は走っても少しの距離が精々でしたが、毎日何kmか走っている内に呼吸が整い苦しさを感じなくなりました。

「自分にもまだこんな体力が残っていたんだ。」と、嬉しくて少々の雨の日も、台風が来る日は風が強くなる前まで……走る事が楽しくて仕方ありませんでした。

そして緊張の中での出発。大会前日の練習の時は、サブグラウンドの中の全ての選手が自分より強く見えて、早くホテルに帰りたいと思いました。第1日目、開会式はとても晴れやかで、清々しく行進出来ました。そして1種目のソフトボール投げでは、周りの人と楽しく会話をしながら練習で1球投げた時、自分では軽く投げたつもりでいたのに、審判員の方々から、オオーという歓声が上がると共に、「優勝候補だな。」という声が入り、結果として肩に力が入り、自分の力不足に悔しい思いをしました。

様に大変お世話になり有難うございました。今思いましても、私のような者がよく選んで頂けたと感心しております。お蔭様で、金・銀のメダルを頂いてきました。その代わりに好きな間食を止めて、6kgの体重を落とす事が出来ました。これも皆様の励ましがあればこそ喜びで一杯です。

その上、選手の皆様とも友達になる事が出来、私の園には若い人が多いので、話も合わせにくく、淋しい思いもしていたのですが、この大会では皆さんか

ら「小栢さん、小栢さん」と声を掛けて頂いて、本当に有難うございました。「私はもう年だ。」と一人で思っておりましたが、私よりまだまだ年上の方がおられる事に驚きました。

これからは一生懸命出来る限り運動をして、体重を減らす事に専念したいと思います。本当に有難うございました。これからも、皆さん体に気をつけて頑張ってください。

ところが、大会まで1カ月前を切った頃から、段々ブレッシヤーがかり、走る度に足のどこかが痛い、また、痛めてしまおうという恐怖感で走る事が恐くなってしまうました。体の疲れもピークになり、休もう、休もうと思う気持ちと、走らなければという焦りが、最後の強化練習の頃まで続いていました。そんな時、周辺の人々(家族も)が暖かい言葉で穏やかに励ましてくれたのです。

良かった！出場できて本当に良かった！素晴らしい経験と出会いをありがとうございました。この宝物を糧にこれから先も前進していきたいと思います。ご指導頂き、見守って頂いた多くの方々、ありがとうございました。

喜びで一杯！

土山町 小栢 尚子



ゴールはもうすぐガンバレ/(60m競走での小栢選手)

今回、全国身体障害者スポーツ大会に参加させて頂いた小栢尚子です。その節には役員の皆

自ら感動を与えられるように!

信楽町 大西 努

今回の全国身体障害者スポーツ大会出場に際して、団長・監督をはじめ多くのコーチやスタッフの方々にはいろいろとお世話になり有難うございました。そして、いろいろな力と勇気と感動を与えてくれた選手の一人一人にお礼を申したいと思いま

す。  
私はこの大会で多くの友と大きな感動を得る事が出来ました。夢のような舞台上で団旗を握り締め、一步一步踏み出す。喜びと興奮が体を駆け巡る。今まで自分が持っていたわだかまりが溶けていく気がしました。

「自分への挑戦」

大津市 小池 雪子

昭和56年のびわこ大会を挟み前後3回選考記録会に参加したのですが、その後、あまり全国大会に挑戦する気持ちがありま



ソフトボール投げ競技での小池選手

私の出場種目はソフトボール投げと砲丸投げに決まりました。コーチ、指導員の方々や投球ホーム等を一生懸命丁寧に指導して下さいますが、体力と腕力が弱く、思う様に距離が伸びず、

として更に上を目指して行きたいと思えます。これから先、様々な壁に当たる事もあるかと思いますが、この大会で見た笑顔と感動を思い出し、頑張っていきたいと思えます。そしていつかは私自身も皆に感動を与えられるような選手になりたいと思えます。

最後に、お世話になりました役員・コーチ、一緒に参加した選手の方々、本当にありがとうございました。どうぞ、これからも宜しくお願致します。

明日からは大会新記録を目指し、槍投げに全力投球したいと思います。来年の熊本大会への出場を目指して頑張ります。



100m競走スタートの瞬間!

それまで記録だけにこだわってきた自分に新たな視野が出来て良かったと思います。記録も大切ですが、それ以上に努力の積み重ねと、力を一杯出し切れる事が大切であると感じました。

私達、滋賀県選手団は皆よく頑張る事でき、とても良い笑顔を見せる事が出来たと思います。一人一人の精一杯と最高の笑顔が皆の感動となると思いました。私はこの大会を一つのステップ

本大会に自分が情けなくなり、暑さにも負けそうになりました。9月に入ると、腕と腰が痛み、腰の治療に専念するため、少し練習を休む等、十分に練習が出来たとは言えませんでした。結果はあまり考えず、力一杯悔いの残らない様にしよう!と大会に臨みました。

僕は、大会の一カ月前から肘が痛く、病院に通っていました。しかし、思うように治らず少し焦っていました。出発する前日に痛み止めの湿布と飲み薬を病院で頂きました。

結果、1位になり良かったと思えます。2日目は、ハンドボール投げに出場しました。前日に投げた時に痛みがあったので、どうしたものかとずっと考えていましたが、今日で競技が終わり、明日からは練習もなく肘を休ませる事が出来るので、本気を出して精一杯投げました。頑張った割には記録が思うように伸びず、入賞を諦めていたのですが、3位に入る事が出来、嬉しかったです。この大会では、結果として1位と3位のメダルを持って帰る事が出来ました。

大会新記録を目指して...  
甲西町 長谷 景治  
11月7日、8日、神奈川県横浜市で開かれた「かながわゆめ大会」に出場でき、嬉しかった。



痛みをこらえて頑張った、長谷選手の槍投





お世話になったフレンズ・ボランティアさんと…(写真右)

自分を変える、変わりたい！

びわ町 北川 正子

今ある自分を見つめる事が出来なかつた私は、不自由になつた足をただ悲しいとばかり思つて生きていました。障害者スポーツに参加するようになり、障害者の方達と出会い、暖かい心に触れ、私の悲しみはちつぽけな物になりました。自分の力、可能性を信じて努力すれば、自分はある、変わる、変わりたいと思つました。

こんなに強く感じられた事を幸せに思います。

この感動と出合いを自分の生きる糧として、しっかりと前を見て歩いて行きたいと思つています。今後も障害者スポーツを通して色々な事を学び、少しでも人のために役に立つ自分になれるよう努力します。

夢の様な気持ち…

八日市市 中江 幸子

4カ月間、13名のメンバーに加えて頂き汗を流した事、そして皆で大会の競技場に入場した瞬間は、私の人生の大きな節目となりました。互いにいたわり、励まし、語り合った時間を経たず、この素晴らしい大会で大きな感動を得る事が出来たのだと思つています。

6月の記録会で、2回目の出場選手として選ばれ、練習に励みましたが、なかなか思うように記録が伸びず、コーチの方に苦勞をかけました。大会の日が近づくとつれて少しライラシ、態度にも表れましたが、コーチの方は優しく受けとめて、よく指導して下さいました。十日程前になつてやつと指導が身に付くようになりましたが、心の中は何となく不安でした。10月末頃に出来るだけの事は全てして貰つたので、後は体調を整え

ておくようにとお父さんに言われました。

11月3日に八田副会長の家へ出場の挨拶に行きましたが、心の中は不安でした。八田さんは私の様子を察してか、楽しく遊んで来たら」と言葉を掛けて下さり、その一言で気持ちが楽になり、力が湧いてきました。

大会1日目は砲丸投げで、私が1番目の出場でした。朝、コーチから頂いた注意のメモを胸にしっかりと抱いて、競技に臨みました。気持ちを落ち着けて、大きな声を出し、思い切り投げたところ、5m85cmも投げる事が出来、夢の様な気持ちでした。

2日目の朝、コーチの方から励ましの声を掛けて頂き、落ち着いて泳ぐ事が出来、思わぬ良い記録を出す事が出来ました。振り返つて見れば、砲丸投げでは大会新記録の金、水泳でも大会新記録の銅メダルを頂けた事は、私達を応援して下さいました皆様方のお蔭と感謝の気持ちで一杯です。

多くの人に経験してもらいたい…

大津市 島崎 勇夫

昨年の卓球の県の卓球大会で身障者の国体に多くの人が出場されている事を聞いて、「自分も全国大会に出場したい。」という気持ちになり、今年6月に彦根

今後は今回の事を弾みとして皆様と共に歩いて行きたいと思つています。



まさに手に汗握る卓球競技での島崎選手

陸上競技場での選考会に出場しました。幸いにして、神奈川ゆめ大会に出場の機会が与えられ卓球と立幅跳びに出場する事になりました。

6月から11月末までに何回かトレーニングがあり、その間、多くのコーチと協力者がおられる中で練習ができ、時々、自主トレもしながら、大津市、草津市の在任の方々には、卓球の個人的練習でも協力していただきました。こうした人の援助で当日を迎える事ができました。



金メダルを胸に手を上げ声援に応える中江選手

11月5日から10日までの期間即ち知事公舎での結団式から解団式までは、あつという間で夢のようでした。大会の前練習で多くの障害者がグラウンドで黙々とトレーニングをしているのを見て、改めてこの大会に対する意気込みを感じたものです。卓球の練習でも色々な人の様子を見て、圧倒されないようにリラックスする事ができました。そしていよいよ当日、開会式の

入場までは、冗談を皆で言いあったのですが、いざ「滋賀県」というアナウンスを聞いた時は頬が引きつるのを感じ、快ちよい緊張を覚えました。総勢四千人が一堂に集い、三万人の観衆の中に自分がいることは夢ごとでした。

一日目の卓球競技は、佐賀県の選手のレシーブができず、負けたのに悔しい思いをしました。卓球の面白さを改めて感じました。二日目の立幅跳びでは暖かい陽ざしを感じて競技でき、自己ベストに近い記録が出た事に、ホツとしました。

ところで、大会では思うような結果が出なかつた私でしたが、役員の方々の、楽しい会話に選手としての気持ちが和み精神的に助かりました。

さて、13人の選手と16人の役員とゆめ大会に出場できたことは良い思い出になりました。これから多くの障害を持つ人々に経験して頂きたいと思つています。



大会をご観戦になる皇太子殿下、同妃殿下

# ゆうあいピック茨城大会 かながわ・ゆめ大会 滋賀県選手団成績表

## ◎ゆうあいピック茨城大会成績表

氏名	種目	記録	順位	氏名	種目	記録	順位
横江拓哉 (少年組)	25m平泳ぎ	22秒52	2	秋永一久美 (少年組)	走幅跳	3 m05	3
	50m平泳ぎ	48秒94	2		走高跳	1 m10	1
辻明恵 (少年組)	25m自由形	19秒05	1	黒坂俊夫 (少年組)	ソフトボール投	63m27	1
	50m自由形	44秒99	1		立幅跳	<b>2 m64</b>	1
古川和彦 (青年組)	25m自由形	15秒63	3	寺田浩人 (青年組)	走幅跳	4 m32	3
	50m自由形	33秒02	1		走高跳	1 m20	2
齋藤政信 (青年組)	25m背泳ぎ	23秒65	3	水口誠 (少年組)	ソフトボール投	51m56	3
	100m自由形	1分20秒54	3		走高跳	1 m20	6
西田尚弘 (少年組)	1500m競走	4分57秒33	1	淵田彰 (少年組)	卓球	-	1
	立幅跳	2 m43	1				
竹田実 (少年組)	1500m競走	5分10秒63	5	田村真一 (少年組)	卓球	-	3
	立幅跳	2 m44	1				
辻正規 (少年組)	1500m競走	4分47秒59	1	新居政幸 (青年組)	フライングディスク アキュラシー	4枚	5
	800m競走	2分19秒93	1		ディスタンス	33m92	7
若井章吾 (青年組)	1500m競走	4分59秒14	2	赤田正由 (壮年組)	フライングディスク アキュラシー	6枚	3
	800m競走	2分27秒62	4		ディスタンス	26m12	5
城戸英樹 (少年組)	100m競走	14秒42	5	由井美幸 (青年組)	フライングディスク アキュラシー	6枚	2
	200m競走	30秒71	5		ディスタンス	22m58	6
川添和美 (少年組)	50m競走	8秒32	1	城戸・竹田・黒坂・西田組	男子400mリレー	54秒10	1
	立幅跳	1 m72	3	横江・辻・古川・齋藤組	水泳100mリレー	1分12秒56	3

(太字は大会新記録)

団体種目 サッカー 準決勝(シード扱いの為、10月18日の準決勝が初戦) 滋賀0-2 静岡

※ 競技名の上段は10月17日、下段は10月18日、中段は両日に渡り行なわれた競技を表す。

## ◎第34回全国身体障害者スポーツ大会成績表

氏名(障害区分)	種目	記録	順位	氏名(障害区分)	種目	記録	順位
長谷景治 (聴覚・平衡、音声・言語、 そしゃく機能障害)	やり投	45m71	1	北川正子 (片下腿切断、 片下肢不完全)	アーチェリー(30mWR)	516ポイント	1
	ハンドボール投	34m75	3		砲丸投	7 m46	1
山田光穂 (聴覚・平衡、音声・言語、 そしゃく機能障害)	砲丸投	11m48	1	研谷三枝 (視力手動弁から0.03まで、 視野5度以内)	ソフトボール投	20m51	1
	ハンドボール投	37m37	4		60m競走	11秒1	1
野口大介 (不随意運動を伴う走可能、 その他片側障害)	50m平泳ぎ	<b>1分22秒10</b>	1	小池雪子 (片下腿・片大腿切断、 両下肢不完全)	ソフトボール投	10m30	5
	50m自由形	1分00秒85	2		砲丸投	3 m76	6
大西努 (片下腿切断、 片下肢不完全)	走幅跳	<b>5 m05</b>	1	小栢尚子 (四肢麻痺で車椅子使用)	ビーンバッグ投	8 m51	1
	100m競走	<b>12秒9</b>	1		60m競走	1分17秒1	2
島崎勇夫 (両前腕切断、片前腕 ・片上腕切断、両上肢不完全)	卓球	-	2	中江幸子 (片下腿・片大腿切断、 両下肢不完全)	砲丸投	<b>5 m85</b>	1
	立幅跳	1 m45	2		25m背泳ぎ	<b>38秒97</b>	3
辻村光俊 (視力手動弁から0.03まで、 視野5度以内)	走高跳	<b>1 m10</b>	1	板倉郁子 (手部切断、片上肢切断、 片上肢完全、片上肢不完全)	やり投	6 m14	4
	200m競走	30秒6	1		立幅跳	96cm	4
佐多ひとみ (聴覚・平衡、音声・言語、 そしゃく機能障害)	200m競走	29秒7	1	註) 記録中の太字は大会新記録を表す。 また競技名の上段は11月7日に行なわれた競技、下段は11月8日に行なわれた競技を表す。			
	走幅跳	<b>5 m03</b>	1				

# 第17回スペシャルスポーツカーニバル



ガイドラインを用いての60m徒走競技での一コマ

7月12日(日)、県立長浜ドームに於いて、第17回滋賀県スペシャルスポーツカーニバルを開催致しました。

前回は開催が夏休みにかかった為、施設入所者の帰省等の理由で団体参加がふるわず、参加者が若干減少したため、知事選挙の影響による減少が懸念されましたが、投票時間延長とカーニバルの時間短縮もあり、全市町村から千人を超える参加者があり、関係者を安心させました。

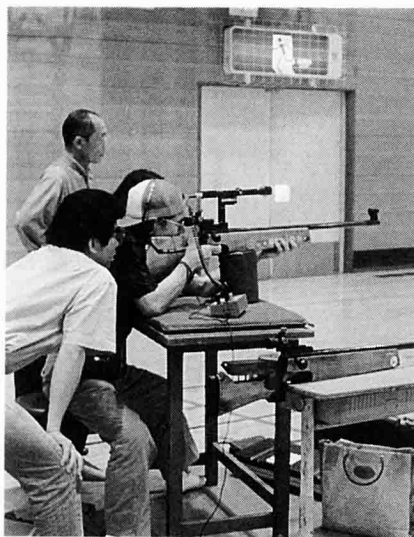
また、開会式に於いて長浜市立南中学校吹奏楽部の皆さんの心のこもった演奏があり、カーニバルの開幕を一層華やかなものになりました。そして参加記念メダル授与では、恒例により？月光仮面が登場し、参加者にメ

ダルを受け、テーマ曲の歌詞通り疾風のように立ち去って行き、更に開会式を盛り上げました。

競技に於いても、昨年に引き続き実施された集団種目「入れ入れ輪の中へ」をはじめ、全競技において目立ったハプニングもなく、会場は終始参加者の笑顔であふれ、楽しいカーニバルとなりました。また、支部対抗競技に於いては、参加者と応援者が一体となって競技を盛り上げ、参加者にとっても役員にとっても思い出の多いカーニバルとなりました。

そして大会のフィナーレを飾る「みんなで踊ろう」では、ダンスサークル「フラッシュ」の皆さんの素晴らしいエアロビクスダンスで参加者一同大いに盛り

- り上がり、今年のカーニバルも大きな感動の内に幕を降ろしました。なお、競技の結果は次の通りです。
- ▼八〇〇m競走(男子)
- 1位 若井章吾(湖南)
  - 2位 西田尚弘(草津市)
  - 3位 藤崎直人(甲賀)
- ▼八〇〇m競走(女子)
- 1位 西村陽子(湖西)
  - 2位 永井昌子(湖北)
  - 3位 田中久音(甲賀)
- ▼支部対抗リレー(決勝組)
- 1位 湖南地区 1分19秒03
  - 2位 甲賀地区 1分21秒03
  - 3位 長浜市地区 1分22秒65
- ▼たくはいびん
- 優勝 愛犬地区  
準優勝 湖西地区  
3位 八日市市地区



音響誘導装置を用いての視覚障害者の射撃

## 第一回ビームライフル大会

8月2日(日)、県立障害者福祉センターにおいて、第一回滋賀県障害者ビームライフル競技大会を開催いたしました。

近年、当協会では県ライフル射撃協会の全面的な協力の下、この競技を最重点普及種目として位置付けており、この度これまで行なってきた教室を更に発展させ、正式な競技大会として開催する事となりました。

これまで、当協会では様々な新競技に目を向け、教室・講習会等を行なつてまいりましたが、大会にまで発展したのは昭和62年のグラウンド・ゴルフのみで、グラウンド・ゴルフが高齢の障害者層も獲得し、参加者の裾野を広げた事と同様に、より重度の障害者層も参加出来る大会として発展する事が期待されます。第一回目となる今大会には頸髄損傷者等の車椅子使用者7名を含む60名の参加者があり、また、他の種目ではあまり見な

い顔触れも多かった事から、大会の目論みが間違つていなかった事を立証しました。

初めての大会という事で、参加者は午前中、銃の取り扱い等の説明を教室形式で受けた後、午後からの本格的な競技大会に移りましたが、この種目は全く初めての者も含め、スムーズに大会に移行する事が出来ました。

競技は自由姿勢による20発競技で、全国身体障害者ビームライフル射撃競技大会に準じ、男女別の他は障害区分・年令区分等は一切設けず行なわれましたが、視覚障害者用の音響誘導装置は精度が不安定である為、視覚障害者のみは障害区分を設けた方が良いでしょう？との声がありました。然し、その問題を除けば一回目の大会とは思えない程競技レベルも高く、10点満点を表す王冠マークが会場のあちこちで点滅する等、大会は大いに盛り上がりました。結果男子の部では多賀町の大西孝雄さんが合計一八九点(一射平均9.45点、女子の部では高島町の住友勝子さんが合計一七二点(一射平均8.60点の素晴らしいスコア挙げ、記念すべき第一回大会の優勝を果たしました。

ビームライフルは体力的に不利な者にとって、最適なスポーツであると同時に、安全面から考えてもこれ以上の競技は有り得ず、その点では障害者スポーツとしてこれ以上の種目は今のところ見当りません。

協会では、用具が非常に高価であるという高いハードルを何とかクリアする方法を模索し、更なる普及を図っていきたいと考えております。

シューティングはリアルスポーツです。クールで、熱い！このスポーツはきつとあなたを夢中にさせる筈です。

第一回ビームライフル競技結果

○男子の部

優勝 大西孝雄(多賀町) 一八九点

準優勝 竹本和夫(木之本町) 一八五点

第3位 田中久貴(栗東町) 一八一点

第4位 四塚康則(長浜市) 一七九点

第5位 藤本俊治(土山町) 一七五点

第6位 若林重市(永源寺町) 一七三点

○女子の部

優勝 住友勝子(高島町) 一七二点

準優勝 三浦ハナ(栗東町) 一七一点

第3位 中森節子(土山町) 一六八点

第4位 山下富子(甲賀町) 一六八点

第5位 小池雪子(大津市) 一六六點

第6位 中島美代子(近江八幡市) 一五九点

※女子の3・4位は同得点の為決勝戦を行い決定しました。

# 第36回県大会

## アーチエリー競技

8月30日(日)、県立アーチエリー場に於いて、第36回滋賀県障害者スポーツ大会(アーチエリー競技)を開催致しました。

昨年引き続き8月の開催となったため、やはり暑さが心配されましたが、当日は台風の接近・通過により気温はあまり上がらず、また、懸念されていた雨も殆ど降らなかった事から降りそうで降らない?不安定な天候ではありましたが、8月の屋外としては過ごしやすく、選

手たちは小汗をかきながらもプレイを楽しんでおられました。特に、この競技の導入部分とも言える15m競技に於いては、成績は勿論の事、プレーそのものを楽しむ姿が多く見られ、まさに、参加する事に意義がある大会となっていました。一方前回からダブルラウンド72射の本格的な内容に改められた30m競技については、ハイレベルな競技者による競技性の高い大会となり、大会全体として初心者にも上級者にも楽しめる大会となっていました。

しかし、参加者数については例年をかなり下回り、残念な結果となりました。

近年、県大会の全競技で参加者数の減少傾向が見られ、県大会の意義そのものに関わる重要な問題となっています。減少の理由としてしばしば上げられるのが、参加者の高齢化という点ですが、「静のスポーツ」であるアーチエリーは、他のスポーツと較べ高齢が大きなハンデイであるとは言えません。もう年だから……と引き籠もっては老け込んでしまえばかりです。

さあ、あなたもアーチエリーを通して、再びスポーツの世界に足を踏み入れて見ませんか。 ※15m・30m最高得点者 (障害区分別の最高得点者とはなっておりません。)

- 〈男子1部15m〉 井上 博基(天津) 二二六点
- 〈男子2部15m〉 齋藤 佐(天津) 三〇三点
- 〈女子1部15m〉 伊藤美由紀(天津) 一六八点
- 〈女子2部15m〉 伊澤 恵美(湖東) 一六三点
- 〈男子1部30m〉 川原崎景一(湖東) 四〇五点
- 〈男子2部30m〉 伊東 博之(天津) 六〇九点
- 〈女子1部30m〉 北川 正子(湖北) 五〇九点

口を用いての上肢切断者の射撃(30m競技)



## 卓球競技

9月20日(日)、草津市総合体育館において、第36回県大会卓球競技を開催致しました。



車イス使用者による卓球競技の熱戦!?

事に晴らし、卓球大会初優勝を果たしました。また今年は、6年振りに湖西地区からの参加選手があり、久しぶりに全13地区揃っての大会となったため、その意味でも価値のある大会となりました。なお、各地区の成績は次の通りです。

- 優勝 天津地区 56点
- 準優勝 甲賀地区 53点
- 第3位 湖南地区 49点
- 第4位 草津地区 49点
- 第5位 八日市地区 41点
- 第6位 守山地区 37点
- 第7位 彦根地区 37点
- 第8位 彦根地区 37点
- 第9位 長浜地区 37点
- 第10位 湖東地区 37点
- 第11位 湖西地区 37点
- 第12位 湖北地区 37点
- 第13位 近江八幡地区 4点

## 立命

### チャレンジヨット

7月4日(日)、柳ヶ崎ヨットハーバーにおいて、立命館大学ヨット部のご招待による、「98立命チャレンジヨットin琵琶湖」が開催されました。

今回は、大阪の障害者グループからも「我々も是非参加させて欲しい。」との声があり、当協会からの参加者27名に加え、大阪からも介護人を含む9名の方が参加されました。昨年は天候に恵まれず雨の中のクルージングとなりましたが、今年は梅雨の真っ只中にも関わ

今大会も昨年と同様に9月の開催となったため、アリーナ内は激しい動きの選手には少し暑いとの声があつたものの、その他の者にとっては概ね適温で、参加者たちは、素晴らしい秋の一日を、心地良い汗を流して過ごす事が出来ました。 この大会は、これまでトーナメント方式で行なわれてきたため、1回戦敗退者は僅か1試合の為に、1日中いるようなものだ。という批判が以前からあり、また、参加人数が少ない障害区分では棄権者の如何によって1試合も行わずに優勝というような極端な例もありました。そこで今大会では、競技形式を全く改め、1リーグ約3人

のリーグ戦を基本としながら、人数によってはトーナメントも行なうという競技形式に変更され、参加者は棄権者が無い限り最低2試合出来る事になりました。結果、「こんなに試合をさせられてはたまらない!」という方も中にはおりましたが、一般的には好評で「来年からも続けて欲しい」という声が多く聞かれました。 一方、地区対抗部門においては、「市政百周年を優勝で飾ろう!」と意気上がる大津地区が甲賀地区の6連覇を阻み、陸上大会の折り「今回は優勝から最も近い距離にいる。」と言われる優勝候補となった事の雪辱を見

# 第2回CMH サッカーフェスティバル



ゴールは渡さないぞ！(ストライブは滋賀Aチーム)

らず絶好の晴天に恵まれ、夏の陽射しが照りつける中、参加者たちは琵琶湖でのマリンスポーツを楽しまれました。

当日、湖上は岸方方向からの不安定な風が多く、波しぶきを上げ安定航行しているヨットが、突然予想外の動きをする事もあり、参加者達にとって爽快感と共にスリル？を味わえるクルージングとなりました。

そして、着艇後の懇親会では部員の方々による暖かいもてなしがあり、参加者と部員の方々の会話が自然と弾み、楽しい一時を過ごす事が出来ました。

こうして、6回目の招待となる今回も、皆の笑顔の内に幕を下ろしました。

立命館大学ヨット部の皆様には毎年この楽しい行事にご招待頂き、心より感謝しております。本当にありがとうございます。

9月27日(日)、水口町スポーツの森公園にて、「第2回CMHサッカーフェスティバルびわこ大会」が開催されました。

この大会は昨年の20周年記念事業の中で、知的障害者スポーツ部門の目玉として第1回が開催されたもので、今回が2回目の大会となり、滋賀県からの2チームを含む、5府県8チーム



今年もありがとうございました。

の参加がありました。

当日は終日雨がパラつく生憎の天候にも関わらず、選手たちはずぶ濡れになりながらも、一心に白球を追い掛けていました。

競技は予選リーグBブロックの静岡県立北養護学校チームが全試合無失点の3連勝でブロックの勝者となり、決勝戦でもAブロックの勝者大阪府立明光ワークスチームを4対0で下し、2大会連続無失点の全勝で連覇を果たしました。

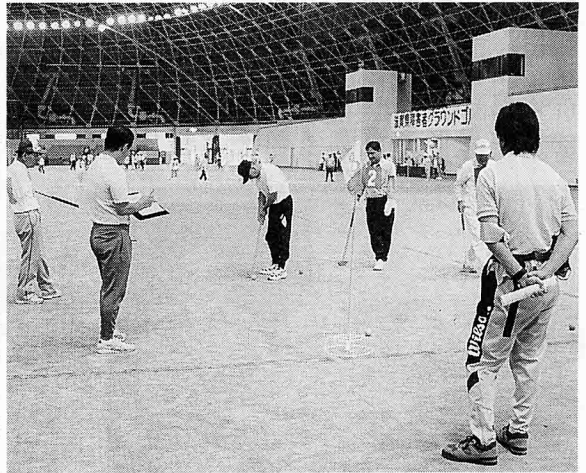
一方、地元滋賀県チームについては、予選Aブロックの滋賀Aチームが健闘を見せ、豊田K OYOチームを1対0で破ったものの、大阪府立明光ワークスチームに0対1で惜しくも破れブロック2位となり、決勝進出はなりません。

ゆうあいピック大会を除き、府県を越えての交流試合があまり行なわれていない知的障害者のサッカー競技ですが、この大会が契機となり、より多くの大会が全国の各地で開かれる事が望まれます。

なお、大会結果は次の通りです。

- 予選Aブロック◇
  - 1位 大阪府立明光ワークス (3勝0敗)
  - 2位 滋賀A (1勝1敗1引分け)
  - 3位 神戸選抜 (1敗2引分け)
  - 4位 豊田K OYO (2敗1引分け)
- 予選Bブロック◇
  - 1位 静岡県立北養護学校 (3勝0敗)
  - 2位 愛知県立佐織養護学校 (1勝1敗1引分け)
  - 3位 大阪天美 (1勝1敗1引分け)
  - 4位 滋賀B (0勝3敗)
- 決勝戦◇
  - (Aブロック1位) 大阪府立明光ワークス 4
  - (Bブロック1位) 静岡県立北養護学校 0

# 第13回グラウンド・ゴルフ大会



ホールポスト付近での接戦！

10月4日(日)、県立長浜ドームにおいて、第13回滋賀県障害者グラウンド・ゴルフ大会を開催致しました。

前回大会は全国障害者クラブ

- 1位 静岡県立北養護学校 (3勝0敗)
  - 2位 愛知県立佐織養護学校 (1勝1敗1引分け)
  - 3位 大阪天美 (1勝1敗1引分け)
  - 4位 滋賀B (0勝3敗)
- 決勝戦◇
- (Aブロック1位) 大阪府立明光ワークス 4
  - (Bブロック1位) 静岡県立北養護学校 0

ンド・ゴルフびわこ大会の予選としても開催された為、それ以前の前大会と相違点が多く、全く新しい競技形式となっております。

新しい競技形式となっておりましたが、今大会では前大会迄の大会の反省点を総括し、チーム編成は3人1組で前大会と同様参加種別は団体参加のみで一昨年以上と同様という具合に折衷的な方式となりました。また、成績についても、同打数時の成績処理が運営のネックになっていくとの反省から、同打数の場合は高年齢チームが上位と改められる等、変更点が非常に多く、これからの大会に向けて、競技運営方式を整備する大会でもありました。

更に今回は、例年出場競技が終了すると順次参加者が帰ってしまい、閉会式には一握りの選手しか残っていないという問題

に対しても初めて本格的に取り組み、競技終了後、閉会式迄の間に参加者全員参加によるホールインワンゲームを行なった他、自由練習会場・ビデオコーナーを開設する等、多くの新しい試みが行なわれました。

しかしながら、記録員の自己確保を参加の原則条件としていたにも関わらず、当日になって得点記録が出来ないチームが続出するなど問題点も多く発生しました。

この大会は他の県大会種目とは異なり、参加希望者が毎年増加の一途を辿り、ここ数年は運営上参加者の制限を行なっております。この点から、もはや種目普及という初期の目的をほぼ達成したとして、「競技大会としての質の向上を図る為、参加制限を厳しくすればどうか」との声も聞かれました。

競技においてはやはりクラブ等で日常からこの競技に取り組んでいる地区の強さが際立ち、結果、上位常連の土山町の更生会Aチームが、昨年の優勝スコアより更に2打少ない、50打の素晴らしいスコアで優勝を飾りました。

- なお大会結果は次の通りです。
- 第13回滋賀県障害者クラブ・ゴルフ大会結果
- 優勝 土山町更生会
  - Aチーム
    - 50打 彦根Bチーム
    - 57打 信楽町Aチーム
    - 57打 豊郷町3チーム
    - 60打 高島町Cチーム
  - 準優勝
    - 57打 彦根Bチーム
    - 57打 信楽町Aチーム
    - 57打 豊郷町3チーム
    - 60打 高島町Cチーム

第6位	長浜支部	61打
第7位	2組チーム	61打
第8位	新旭Bチーム	61打
第9位	蒲生町Aチーム	62打
第10位	彦根Dチーム	62打
	長浜支部	62打
	2組チーム	64打

※同打数の場合は合計年令の高いチームが上位となります。  
なお、11位以下の順位についてはスペースの都合上省略させていただきますが、各市町村に通知しておりますのでご確認ください。

★ホールインワン賞  
(2・7・8ホール対象)  
大津市 藤井三代一  
彦根市 山本浩之・若林市造  
長浜市 西川和雄  
近江八幡市 田中あや子  
・中村美代子  
草津市 宇野勝治郎  
守山市 片山栄蔵  
志賀町 寺岡喜太郎  
水口町 谷口民雄  
土山町 向井盛男・清水さだ  
甲賀町 緩利いとゑ  
信楽町 田中良介  
安土町 小西清吉  
蒲生町 深田伊三郎  
永源寺町 赤田正由  
湖東町 森 松男  
豊郷町 小林安太郎  
多賀町 深田よしみ  
虎姫町 馬場寅男  
湖北町 金田佐喜男  
びわ町 中川喜一・川崎純一  
高島町 万木智江子・奥村スガ  
新旭町 堀江咲信

### ◇各種大会結果◇

▼第15回日本身体障害者水泳選手権大会  
平成10年9月12日(土)・13日(日)  
於 大阪市舞洲身体障害者スポーツセンター

〈男子二五m自由形〉

3位	赤井弘和	21秒64
7位	谷口 稔	24秒84
〈男子五〇m自由形〉		
1位	八戸 悟	39秒14
2位	青木和彦	40秒55
5位	田邊 智	36秒14
8位	中村金蔵	48秒98
〈女子五〇m自由形〉		
3位	太田千恵子	1分17秒28
〈男子一〇〇m自由形〉		
4位	田邊 智	1分22秒67
〈女子一〇〇m自由形〉		
3位	太田千恵子	2分52秒13
〈男子二五m平泳ぎ〉		
1位	中村金蔵	34秒42
2位	赤井弘和	35秒00
2位	脇坂岩男	44秒03
4位	谷口 稔	29秒73
〈男子五〇m平泳ぎ〉		
2位	脇坂岩男	1分37秒86
〈男子二五m背泳ぎ〉		
3位	田中光則	25秒70
3位	田中光則	57秒03
〈男子二五mバタフライ〉		
1位	八戸 悟	26秒56

(太字は大会新記録)

▼98FIDジャパン・チャンピオンシップ水泳大会  
平成10年9月19日(土)・20日(日)  
於 横浜国際プール

〈男子二〇〇m自由形〉

3位	古川和彦	3分12秒43
4位	渡辺敦史	3分30秒53
(2組)		
2位	斎藤政信	3分09秒03
〈男子五〇m平泳ぎ〉		
(予選2組)		
3位	渡辺敦史	48秒15
(決勝)		
4位	渡辺敦史	48秒64
〈男子五〇m自由形〉		
(予選1組)		
2位	古川和彦	32秒98
4位	渡辺敦史	38秒44
(予選4組)		
6位	斎藤政信	40秒01
(決勝)		
7位	古川和彦	34秒73
〈男子一〇〇m自由形〉		
(予選1組)		
2位	古川和彦	1分18秒53
(予選2組)		
3位	斎藤政信	1分25秒01
(決勝)		
7位	古川和彦	1分22秒07

▼第8回日本身体障害者バドミントン選手権大会  
平成10年10月24日(土)・25日(日)  
於 名古屋総合体育館・レインボーホール

〈男子ダブルスCブロック〉

3回戦敗退	鈴木一茂・他府県選手組
2回戦敗退	乾澤 歩・他府県選手組
〈女子ダブルスDブロック〉	
優勝	中村節子・他府県選手組
〈男子シングルスCブロック〉	
3回戦敗退	鈴木一茂
1回戦敗退	山田恵三

〈オープン競技(1組)

〈男子シングルスDブロック〉

2回戦敗退	乾澤 歩
▼第12回びわこ車いすテニストーナメント大会 平成10年11月3日(土) 於 大石緑地スポーツ村 テニスコート	
(ニューミックス)	
優勝	家村・小林 ペア
準優勝	伊藤・菅 ペア
第三位	芝崎・芝崎 ペア

### 事務局だより

◎職員通信  
事務局の臨時職員として平成8年4月からお手伝い頂いている、矢野美喜さんが11月に結婚され、伊勢坊(いせぼう)美喜さんになりました。なお、協会職員として引き続きお手伝いを頂く予定ですのでファンの方?はご安心下さい。おめでとございます。

◎古切手等回収協力者  
大津市 八田 智洋  
大石 康雄  
板倉 郁子  
八木沢秀子  
橋本 末一  
野瀬 高明  
北村さよ子  
彦根市 大橋 博  
近江八幡市 津田 貞子  
守山市 加藤 善彦  
水口町 菊池 滋美  
安土町 林 保次  
多賀町 山田 重夫・次子  
豊郷町 久保川一夫

### お知らせ

◎第1回滋賀県障害者ボウリング大会開催日程の変更について  
本年度の協会予定事業の第1回滋賀県障害者ボウリング大会について、当初開催日程を平成11年1月31日(日)としておりましたが、同1月30日(土)に変更いたしますのでお知らせ致します。  
なお、会場は大津ボウルとなります。参加希望者は申し込み期日までに市町村役場の障害福祉担当部署にお申し込み下さい。  
◆ボウリング教室申込み締切日  
平成11年1月11日

辻 健一郎  
今津町 山下 巧

八日市事務所税務課  
県障害福祉課

※以上集まった古切手等は県のボランティアセンターに送らせて頂きます。ご協力ありがとうございました。



もっ、もしや、この方々は…(茨城にて)

### 編集後記

私達はこのたび國松新会長を迎えました。会長は就任に当り、障害者スポーツを取り巻く環境が大きく変化する中で、これからの障害者スポーツの方向をしっかりと見定め、力強く前進していきたいと決意を表明されております。私達も心を新たに新会長のもと、一丸となって障害者スポーツの振興に一層努めてまいりたいと思っております。

本年10月17・18日開催のうあいピック茨城大会で、本県選手団は、金メダル14、銀5、銅11、大会新記録1、自己新記録13の好成績を挙げました。また、11月7・8日の第34回全国身体障害者スポーツ大会では、金15、銀4、銅2、大会新記録7、自己新記録9の立派な成績でありました。勿論メダルを多く取ることは立派なことですが、もつと素晴らしいことは、自己新記録が多かったことです。このことはとりもなおさず大会を目指して日々練習を重ね、自己のベストを尽したあかしであり、この経験は、これからの生活に大きな力となっていくことでしょう。さて、平成13年度には、全国身体障害者スポーツ大会とうあいピック大会が統合実施されることになりましたがこれを契機として障害者スポーツを障害者種別を超えた全体スポーツとして発展することが期待されており、私達もいまから準備をしていかなければならないと考えております。